

特集 産業振興による市街地の活性化

市議会建設産業委員会では、市の特色や産業の強みを最大限に生かした取組を行うことで、市街地に新たな人の流れと経済活動を生み出すことができ、市街地が活性化するのではないかと考えて、調査・研究を進めてきました。特色ある産業を活かした市街地の活性化について、まちおこしや産業・学術の分野で活躍されている方に、市と共創できる事業等のお話をお聴きしました。
(取材日：令和7年2月23日) (聴き手：市議会建設産業委員会 戸塚邦彦委員長・八木義弘副委員長)



静岡県立農林環境専門職大学
生産環境経営学部 准教授

つじ しほさん



天龍社織物工業協同組合
理事長

あんま まさお
安間 政雄さん



NPO法人いわたタウンマネジメント
代表

おおいし てつ
大石 徹さん

——本市の市街地の印象をお聞かせください。

達 6年の春に、大学の赴任で磐田市に生まれました。初めて磐田駅を降りたときに見えた大きなクスノキは、今も強く印象に残っています。また、見付の「カボチャ食堂」の皆さんに誘われて見学した旧見付学校は、ちょうど桜が満開の中でライトアップされていて、とても素敵でした。カボチャ食堂の皆さんが楽しんでいる雰囲気も魅力的で、このようなまちにある大学でこれから仕事ができることにワクワクしました。国分寺や旧赤松家など歴史あるまちであり、これ以外にも本場にいろいろあつて、外から来る人を楽しませるものにも事欠かないまちだと感じています。

安間 私は生まれも育ちも福田ですが、大型スーパーマーケットやドラッグストアの新店で、車を利用した買い物は大変便利になりました。その反面、市街地にあった商店は、駐車場の確保や後継者等の問題で廃業している所もありま

す。人の流れが変わり、以前のよな商店街の賑わいがなくなってしまうと思います。

大石 区画整理や磐田駅前の再開発でマンションが2棟できて、人が住む市街地としては、きれいなっているのではないかと思います。ただ、商店街は大型ショッピングセンターができた影響で、個人で商売している方が廃業してしまっています。

——本市の産業、特産品を活かした事業の取組がありましたらお聞かせください。

大石 NPO法人では、メンバーが農家に生産してもらったサツマイモを干し芋や焼き芋にして、イベント等で販売しています。

安間 福田地区は織物の一大産地なので、天龍社の敷地内で「機はたの音マーケット」を年2回を目標に開催しています。機はたの音マーケットでは、キッチンカーやメダカすくい、コーデューロイハウスを開放して生地やグッズの販売、手機織機による織りの体験でコースター

作りを行っています。加えて、静岡県繊維協会主催で「綿の産地フェア」をアミューズ豊田や浜松駅北口のソラモで開催していて、天龍社も出店し遠州織物の生地や製品を販売しています。

達 大学祭では、当日の朝、たくさんの方が大学で栽培した野菜を買いに校門で並んでいらっしやいました。また、授業のある期間は食堂を一般にも開放していて、地域の方が散歩がてら昼に学食を食べに来られ



ます。また、授業時間ですが、実習の一環として野菜を販売しています。大学のことをもっと知っていただき、大学の外でも地域の方々と協力してできることがあるといいなと考えています。

——産業の特産品や観光を活かした市街地活性化の施策について、新たに共創できる事業などご意見をお聞かせください。

安間 機はたの音マーケット開催をきっかけに、コーデューロイハウスを当産地のアンテナショップとして、遠州織物の良さを発信していきたいと思っています。また、大学祭や市内のイベントでもコーデューロイのグッズ等の販売を通して、遠州織物の産地をPRしていきたいです。過去に行っていた磐田駅北口でのファッションショーも、復活してほしいです。

達 大学・短大ともに1年生は全寮制ですので、学生がこのまちで暮らし、地域と交流し磐田市のことをもっと知ってもらおう体験をして、卒業後に第二の故郷という思

いをもって、県内外に広めてほしいと思います。また、愛知県の農業用水では、通水が無い時期に水路の中を歩くイベントを行っている人気があります。世界かんがい施設遺産に登録された寺谷用水でもできたらいいですね。

大石 スポーツのまちだと全国的に思われていますが、サッカーやラグビー、その他いろいろ大会で磐田市に来る方がいても、その後の観光とかに結び付いていないと感じます。徳川家康に関する話が磐田市は多いので、このようなものをいろいろ活かせたらいいなと思います。

——市議会や行政に期待することをお聞かせください。

達 磐田市に来て、本当に魅力的なコト・モノがあふれていると感じています。そのひとつひとつに足を運ぶ機会を作り、体験したことを発信してくれるファンを増やしてほしいと思います。

大石 団体や行政では、各地でいろいろなる事を行っているので、そ

れを取りまとめて情報発信等を行ってほしいです。また、磐田駅前に空き店舗がありますが、個別に貸借をお願いしても貸していただけません。行政が橋渡しをして、新たな出店を促していただきたいです。

安間 コーデューロイを含めた遠州織物を販売できるイベントや会場を紹介していただきたいです。また、中学生を対象にした職場体験で製品の販売、機織りや糸つなぎ、若しくは織布工場の見学を行っています。多くの子どもたちにとってこういった体験が出来る機会を作ってもらいたいです。

——特産物や観光資源など、市街地を活性化する素材が市内各地に沢山存在していると気づかれました。これらをつなぎ、市をPRしてくれるファンを増やすことが市街地活性化につながると、取材を通して感じました。